



## 記念誌発刊に際して

幕別町体育連盟

事務局長 亀谷雅彦

社会機能としての教育は、人間社会の成立とともに存在するものでありますが「社会教育(体育)」は、これを意図的に組織化しようとするところに成立するといえます。

わが国の社会教育の振興策がはじまるのは明治30年代からであります。当時は「通俗教育」とよばれ「社会教育」と改められたのは大正10年からであります。それはやはり「国民教化」という考え方によっていたのですが、それが新しい近代的な社会教育と質的に転換が行われるようになってきたのは昭和24年の「社会教育法」制定によってであります。教育基本法に基づくこの法律は、わが国において社会教育がはじめて法制化されたという点で、画期的な意味をもったのであります。

戦後、荒廃した社会情勢の中で、人々が何かに活路を見いだそうとした暗中模索の時でありました。幕別町でも、人間性回復と自発的な自己学習や相互的な自己教育の活動を志し、地域社会の人々のための社会教育(体育)に重点がおかれるようになりました。その後スポーツ愛好者も増加し、各種の協会・連盟・同好会等の団体が結成され活動が活発になされるようになりました。これらを計画的・系統的に組織化し、より幕別町民に密着したスポーツ団体に発展することを願望し昭和33年4月に幕別町体育連盟の発足をみることができました。それ以来20年を経過し、その発展充実は著しいものがあり喜びにたえないところであります。

ここに当体育連盟発足20周年記念事業を展開し、身体活動がいかに人間生活に必要不可欠であるかということの認識と理解を深め更に体連発展の機会にしたいものです。

記念誌発刊のもつ意味は体育連盟のあり方や社会体育としての意義についての認識と理解を深め、これからも幕別町体育連盟発展のために参画される多くの後輩に埋もれ、忘れ去られようとしている先輩の意気と苦悩とその活動記録を残し、職務と社会体育との両立の大きな悩みをもちつつ活動されている方々や、奉仕によって支えられ今日まで発展した沿革と今後の幕別町体育連盟の発展が各加盟団体の活動の発展充実だけにとどまることなく、幕別町民の生活に密着したスポーツ活動を基盤とした健康で明るく豊かな社会の建設に寄与するという重要な意味をもって発刊されるものであります。

最後に幕別町体育連盟発展にご努力いただきました多くの先輩諸氏をはじめ、記念誌発刊にあたっては多忙な職務のかたわら長期間にわたり御苦勞をいただいた記念誌委員会の皆様、そして記念事業推進にご努力いただきました関係各位に深甚なる敬意と感謝を申し上げますと共に今後の幕別町体育連盟の益々の発展を心から祈念いたしまして発刊のごあいさつといたします。